

事務事業評価調書

1

1. 基本情報

事務事業名	魚類飼育施設運営事業(目・増養殖研究費)				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-①-11
担当課	水産商工観光課	担当係	水産係	担当者	中山一葵			
事業の性質	○ 法定受託事務	○ 義務的自治事務	◎ 任意の自治事務	法定根拠				
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施			<input type="checkbox"/> 委託又は指定管理		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	<input type="checkbox"/> その他()	

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合計画(基本計画)上の位置づけ	基本目標	1 豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	1 基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策	① 栽培漁業の促進と漁業基盤の整備
	具体的な施策	5 新しい漁業の取組
めざす目的成果		栽培漁業の振興、漁家経営の安定向上
事業内容	対象(誰を、何を)	漁業者等
	手段・手法	放流効果の高いマツカワ種苗5万匹の中間育成、放流
	サービス内容	マツカワ種苗5万匹放流

3. 実施結果「DO(実施)」

		単位:千円	平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		令和元年度(予算)		令和元年度事業費の内訳	
コスト	事業費	需用費		4,414		4,637		5,005	[需用費]	・光熱水費:3,828
		役務費		357		428		396	・その他:1,177	[役務費]
		委託料		548		548		609	・通信運搬費ほか396	[委託料]
		工事請負費		0		270		0	・電気工作物保守点検委託料:248	・その他:361
		負担金補助及び交付金		1,150		1,150		1,150	・管内栽培協議会負担金:1,150	[負担金補助及び交付金]
		その他		313		690		130	[その他]	・旅費、使用料及び賃借料、備品購入費、償還金利子および割引料、公課費
		事業費合計		6,782		7,723		7,290		
人件費	常勤職員(延)	50 人日	1,559	50 人日	1,568	50 人日	1,709			
	臨時職員(延)	時間	6,270	時間	0	時間	0			
	人件費合計		7,829		1,568		1,709			
	総事業費		14,611		9,291		8,999		令和元年度財源内訳の積算	
財源内訳	国道支出金								[雑入] ・魚類飼育試験施設維持管理負担金 (光熱水費等):2,900	
	地方債									
	その他特定財源		3,900		3,900		2,900			
	一般財源		10,711		5,391		6,099			
	財源合計		14,611		9,291		8,999			
H30年度 実施内容		マツカワ種苗50,500匹の中間育成放流								
活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H29実績 H29(目標)	H30実績 H30(目標)	R1(目標)	目標年度		
				匹	5000 (50000)	50,500 (50,000)	(50000)	年		
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H29実績 H29(目標)	H30実績 H30(目標)	R1(目標)	目標年度		
				%	10 (100)	101 (100)	(100)	年		
							(100)	度		

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

	1. 妥当性の評価			
12 /20	<p>① 国・北海道・民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。</p> <p><input type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p><input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 必要性がない(0)</p> <p>② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。</p> <p><input type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p><input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)</p>			
	<p>説明</p> <p>中間育成について検討していく必要がある。</p>			
	2. 公平性の評価			
16 /20	<p>① 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。</p> <p><input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6)</p> <p><input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)</p> <p>② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10)</p> <p><input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4)</p> <p><input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)</p>			
	<p>説明</p> <p>漁業者に対し公平である。</p>			
	3. 有効性の評価			
12 /20	<p>① 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。</p> <p><input type="radio"/> とても有効である(10) <input checked="" type="radio"/> 有効である(6)</p> <p><input type="radio"/> やや有効に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)</p> <p>② 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。</p> <p><input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6)</p> <p><input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)</p>			
	<p>説明</p> <p>漁獲量が増加しており、有効な事業といえる。</p>			
	4. 効率性の評価			
12 /20	<p>① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。</p> <p><input type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6)</p> <p><input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)</p> <p>② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。</p> <p><input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6)</p> <p><input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)</p>			
	<p>説明</p> <p>目標の5万匹放流は達成できている。</p>			
5. 優先性の評価				
20 /20	<p>① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6)</p> <p><input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2)</p> <p><input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)</p> <p>② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響はある(6)</p> <p><input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)</p>			
	<p>説明</p> <p>マツカワ種苗供給に継続要望している。</p>			
	<p>説明</p> <p>事業効果も認められていることから、他機関を含め影響は大きい。</p>			
合計	72 /100	事業実施の課題・方向性	継続	

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

	事業の方向性			
2次評価 (政策プロ)	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善
	事業量	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
投入資源 の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
	労働量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
今後の取組方針 (改善点・変更点)				
	事業の方向性			
主幹者会議評価	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善
	事業量	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
投入資源 の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
	労働量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
総合コメント				

事務事業評価調書

2

1. 基本情報

事務事業名	水産加工振興事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-①-12
担当課	水産商工観光課		担当係	水産係	担当者	中山一葵		
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務		<input type="radio"/> 義務的自治事務		<input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務		法定根拠	
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		<input type="checkbox"/> その他()	

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	1 豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	1 基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策	① 栽培漁業の促進と漁業基盤の整備
	具体的な施策	1 生産基盤の整備
めざす目的成果	水産加工団地内加工場からの排水を受け入れ、水質汚濁防止法に定める基準により適正な処理を行い、住民の生活環境の保全と水産業の振興を図る。	
事業 内容	対象 (誰を、何を)	水産加工排水排出業者
	手段・手法	水産加工場から出される排水の処理、監視、検査及び研究
	サービス内容	・処理排水量 23,984t ・稼働日数 365日 ・排水COD濃度 20.3mg/L(基準120mg/L)

3. 実施結果「DO(実施)」

		単位:千円	平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		令和元年度(予算)		令和元年度事業費の内訳	
コスト	事業費	委託料		20,548		14,407		15,349	[委託料] ・水産加工排水処理センター委託料: 15,349	
		事業費合計		20,548		14,407		15,349		
	人件費	常勤職員(延)	15人日	468	15人日	471	15人日	513		
財源内訳	臨時職員(延)	時間	0		時間	0	時間	0		
		人件費合計		468		471		513		
		総事業費		21,016		14,878		15,862	[使用料] ・水産加工排水処理センター使用料:3,268	
		国道支出金								
		地方債								
		その他特定財源		2,998		3,238		3,268		
		一般財源		18,018		11,640		12,594		
		財源合計		21,016		14,878		15,862		
		H30年度実施内容 水産加工排水処理センターを365日稼働させ、23,984tの水産加工排水をCOD濃度20.3mg/L以下に処理した。								
活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし			指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	目標年度	
排水処理量			H29(目標)		H30(目標)				最終目標値	
			t		23,984	23,984	—		年度	
			(23,984)		(23,984)	(23,984)	(23,984)	()	()	
成果指標 ※どのような効果があつたかを把握するためのものさし			指標の説明 ※指標の内容と設定理由		単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	目標年度	
COD濃度			H29(目標)		H30(目標)				最終目標値	
			mg/L		()	()	(20.3以下)	()	()	
			()		()	()	()	()	()	

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1. 妥当性の評価				
20 /20	① 国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。	<input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4)	<input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明 水産加工排出業者の需要があるため、町が設置している。
	② 事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。	<input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4)	<input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明 現状、最適な手法といえる。
	③ 事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。	<input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4)	<input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明
2. 公平性の評価				
12 /20	② 受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。	<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2)	<input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> やや不適切である(4) <input type="radio"/> 不適切である(0)	説明 料金設定の見直しについて検討が必要。
	③ 政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。	<input checked="" type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> やや有効に欠ける(4)	<input type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明 水産加工振興をしていくうえで、本事業はとても有効である。
	④ 当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。	<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値以下である(4)	<input checked="" type="radio"/> 計画通りである(6) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明 計画通り実施できている。
3. 有効性の評価				
16 /20	① 他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。	<input checked="" type="radio"/> 比較的低コストである(10) <input type="radio"/> ややコスト高である(4)	<input type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明
	② 予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。	<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input type="radio"/> 改善の必要がある(4)	<input checked="" type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 非効率的である(0)	説明
	③ 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。	<input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)	<input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 事業見合せ(2)	説明 需要がある。
4. 効率性の評価				
16 /20	① 社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響は少ない(4)	<input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明 住民の生活環境の保全に影響が及ぶ。
5. 優先性の評価				
20 /20	② 事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。	<input checked="" type="radio"/> 継続		
	③ 事業実施の課題・方向性			

合計	84 /100	事業実施の課題・方向性	継続
----	------------	-------------	----

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価(政策プロ)		事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善
投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
労働量		<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 現状のまま
今後の取組方針(改善点・変更点)				
主幹者会議評価		事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善
投入資源の方向性	事業量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 休止(期間: 年度～ 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期: 年度)
労働量		<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 現状のまま
総合コメント				

事務事業評価調書

3

1. 基本情報

事務事業名	町営牧場管理運営事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-②-17
担当課	農林課	担当係	農政林務係	担当者	寺井 真			
事業の性質	○ 法定受託事務	○ 義務的自治事務	◎ 任意の自治事務	法定根拠				
実施方法(全てチェック)	<input type="checkbox"/> 町が直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	<input type="checkbox"/> その他()				

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標 1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策 1	基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策 ②	足腰の強い農業経営の支援
	具体的な施策 ②	農業所得の安定的な拡大
めざす目的成果		・広尾町農業協同組合に管理運営を委託し、経営規模拡大に伴う酪農家の労働不足や粗飼料生産確保の対策を図る。
事業 内容	対象 (誰を、何を)	・町内の酪農家
	手段・手法	・育成牛の預託
	サービス内容	・預託牛の飼養管理・草地維持管理・機械施設維持管理

3. 実施結果「DO(実施)」

		単位:千円	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和元年度事業費の内訳
コスト	事業費	委託料	24,516	23,518	11,674	町営牧場管理委託業務 11,674,000円
		事業費合計	24,516	23,518	11,674	
	人件費	常勤職員(延)	10 人日 312	10 人日 314	10 人日 342	
		臨時職員(延)	時間 0	時間 0	時間 0	
		人件費合計	312	314	342	
		総事業費	24,828	23,832	12,016	令和元年度財源内訳の積算
財源内訳		国道支出金				
		地方債				
		その他特定財源	16,877	14,475	4,012	
		一般財源	7,951	9,357	8,004	
		財源合計	24,828	23,832	12,016	
H30年度 実施内容		放牧日数 165日 預託農家数 10戸 受託延頭数 33,773頭				

活動指標 ※何をどのくらいやったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	最終目標値
			H29(目標)	H30(目標)		
預託牛の管理	預託牛の飼養管理	頭	56,760	33,773	—	H 年度
			(56,760)	(30,000)	(0)	(—)
成果指標 ※どのような効果があったかを 把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	最終目標値
			H29(目標)	H30(目標)		
預託牛の健全な育成	預託牛の集団育成が図られた。	頭	56,760	33,773	—	H 年度
			(56,760)	(30,000)	(0)	(—)
			()	()	()	()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1. 妥当性の評価				
4 /20	①国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。	<input type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input checked="" type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4)	<input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> 必要性がない(0)	説明 公共牧場あり方連絡会議において検討中
	②事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。	<input type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 一部改善すべき(4)	<input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input checked="" type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)	説明 現在検討中
	③事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。	<input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input type="radio"/> 見方により偏りがある(4)	<input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)	説明 農業者に対し公平性を欠くところはない。
2. 公平性の評価				
12 /20	②受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。	<input type="radio"/> 十分適切である(10) <input checked="" type="radio"/> 検討の余地がある(6)	<input type="radio"/> 受益者負担なし(10) <input type="radio"/> やや不適切である(4)	説明 検討中
	③事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。	<input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2)	<input type="radio"/> 不適切である(0)	説明
	④事業の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。	<input type="radio"/> とても有効である(10) <input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4)	<input checked="" type="radio"/> 有効である(6) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)	説明 有効であると考えられる。
3. 有効性の評価				
12 /20	②当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。	<input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input type="radio"/> 計画値以下である(4)	<input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)	説明
	③他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。	<input type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input checked="" type="radio"/> ややコスト高である(4)	<input type="radio"/> 適正なコストである(6) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)	説明 ややコスト高である。
	④予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。	<input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 改善の必要がある(4)	<input type="radio"/> 適正である(6) <input type="radio"/> 非効率的である(0)	説明 検討中。
4. 効率性の評価				
8 /20	①社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。	<input type="radio"/> 必ず実施(10) <input checked="" type="radio"/> 見直して実施(4)	<input type="radio"/> できれば実施(6) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2)	説明 検討中。
	②事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。	<input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10) <input type="radio"/> 影響は少ない(4)	<input type="radio"/> 影響はある(6) <input type="radio"/> 影響はない(0)	説明 農業者に対し大きな影響がある。
	③事業実施の課題・方向性	オソウシ牧場については、平成27年にビロプラズム病の発生を受け、預託牛の受け入れを休止し、ヨーネ病の拡大などにより預託頭数が激減し、令和元年より東豊似牧場も一時休止、しかし、草地等の維持が必要なため、委託管理を農業に継続して委託。今後も公共牧場あり方連絡会議において今後の方向性を検討しております。		
合計	50 /100			

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2. 事業の方向性				
事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 休止(期間:H 年度～H 年度)	<input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 廃止・完了(時期:H 年度)	
投入資源の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
3. 今後の取組方針(改善点・変更点)				
事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 休止(期間:H 年度～H 年度)	<input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 廃止・完了(時期:H 年度)	
投入資源の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
総合コメント				

事務事業評価調書

4

1. 基本情報

事務事業名	町有林整備事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-③-30
担当課	農林課		担当係	農政林務係	担当者	寺井 真		
事業の性質	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 義務的自治事務 <input checked="" type="radio"/> 任意の自治事務			法定根拠				
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <input type="checkbox"/> その他()							

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標	1 豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策	1 基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策	(3) 開発と調和した林業の推進
	具体的な施策	1 森林資源の育成
めざす目的成果	町有林を適切に管理し、森林を持つ公益的機能の高度発揮と森林資源の充実を図る。	
事業内容	対象 (誰を、何を)	町有林
	手段・手法	町有林の整備
	サービス内容	地拵、下刈、植付、除間伐事業

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和元年度事業費の内訳
事業費 コスト	事業費合計		123,277	125,954	86,696	事業費 86,002,000円(補助対象) 694,000円(単独) 計86,696,000円
	常勤職員(延)	90 人日	2,806	90 人日	2,821	
	臨時職員(延)	時間	0	時間	0	
	人件費合計		2,806	2,821	3,063	
総事業費			126,083	128,775	89,759	令和元年度財源内訳の積算
財源内訳	国道支出金		69,034	80,237	51,601	R1 事業 86,002,000円×68%以内=51,601,000円 立木売扱34,556,000円 一般財源539,000円
	地方債					
	その他特定財源		57,049	48,538	34,556	
	一般財源				3,602	
財源合計			126,083	128,775	89,759	
H30年度 実施内容	特殊地拵事業 A=44.69ha 準備地拵事業 A=51.92ha 植付 A=31.10ha 下刈 A=74.36ha 間伐 A=60.59ha					

活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	最終目標値
			H29(目標)	H30(目標)		
町有林管理事業	町有林の育成	ha	192	262	264	H 年度
			(192)	(192)	(264)	(-)
森林資源の充実	森林資源の充実を図った。	ha	192	262	264	H 年度
			(192)	(192)	(264)	(-)
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	最終目標値
			H29(目標)	H30(目標)		

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

1. 妥当性の評価			
20 /20	<p>①国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10)</p> <p><input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p><input type="radio"/> 課題もあり検討すべき(4) <input type="radio"/> 必要性がない(0)</p> <p>②事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10)</p> <p><input type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p>／20 <input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)</p>		
	説明	毎年行っている補助事業である。 補助事業である。	
2. 公公平性の評価			
20 /20	<p>①事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 全住民に対し公平である(10)</p> <p><input type="radio"/> 対象者に対し公平である(6)</p> <p><input type="radio"/> 見方により偏りがある(4)</p> <p>②受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10)</p> <p><input type="radio"/> 受益者負担なし(10)</p> <p><input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)</p> <p>／20 <input type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p><input checked="" type="radio"/> やや不適切である(4)</p> <p><input type="radio"/> 不適切である(0)</p>		
	説明	公平性を欠くところはない。 適切と考えられる。	
3. 有効性の評価			
12 /20	<p>①政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。</p> <p><input type="radio"/> とても有効である(10)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有効である(6)</p> <p><input type="radio"/> やや有効に欠ける(4)</p> <p>②当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。</p> <p><input type="radio"/> 計画値以上である(10)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6)</p> <p>／20 <input type="radio"/> 計画値以下である(4)</p> <p><input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)</p>		
	説明	とても有効であると考えられる。	
4. 効率性の評価			
12 /20	<p>①他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。</p> <p><input type="radio"/> 比較的低成本である(10)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6)</p> <p><input type="radio"/> ややコスト高である(4)</p> <p>②予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。</p> <p><input type="radio"/> 効率性が高い(10)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 適正である(6)</p> <p>／20 <input type="radio"/> 改善の必要がある(4)</p> <p><input type="radio"/> 非効率的である(0)</p>		
	説明	適正なコストである。 効率性が高い。	
5. 優先性の評価			
20 /20	<p>①社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10)</p> <p><input type="radio"/> できれば実施(6)</p> <p><input type="radio"/> 見直して実施(4)</p> <p><input type="radio"/> 事業見合わせ(2)</p> <p>②事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 影響は大きい(10)</p> <p><input type="radio"/> 影響はある(6)</p> <p>／20 <input type="radio"/> 影響は少ない(4)</p> <p><input type="radio"/> 影響はない(0)</p>		
	説明	毎年行っている補助事業である。 町有林の適切管理が出来ない。	

合計	84 /100	事業実施の課題・方向性	計画的に町有林の適切な管理を行い森林資源の充実を図る。
----	------------	-------------	-----------------------------

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

2次評価 (政策プロ)	事業の方向性		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 休止(期間:H 年度～H 年度) <input type="radio"/> 廃止・完了(時期:H 年度)
	投資資源 の方向性	事業量 労働量	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 縮小
今後の取組方針 (改善点・変更点)		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま		
主幹者会議評価	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 縮小
	投資資源 の方向性	<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期:H 年度)	<input type="radio"/> 縮小
総合コメント		<input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 現状のまま		

事務事業評価調書

5

1. 基本情報

事務事業名	有害鳥獣駆除事業				事業開始年度		実施計画 事業番号	1-1-③-31
担当課	農林課	担当係	農政林務係	担当者	寺井 真			
事業の性質	○ 法定受託事務	○ 義務的自治事務	◎ 任意の自治事務	法定根拠				
実施方法(全てチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施	<input type="checkbox"/> 委託又は指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	<input type="checkbox"/> その他()				

2. 事業概要「PLAN(計画)」

まちづくり推進総合 計画(基本計画)上 の位置づけ	基本目標 1	豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
	政策 1	基幹産業の漁業・農林業に対する支援強化
	施策 ③	開発と調和した林業の推進
	具体的な施策 2	森林資源の保全と活用
めざす目的成果	有害鳥獣駆除を実施し、農林業被害の軽減を図る。	
事業内容	対象 (誰を、何を)	熊、エゾシカ、キツネ、カラスの有害駆除
	手段・手法	獵友会広尾支部による銃器、箱わなによる有害駆除
	サービス内容	有害駆除奨励金

3. 実施結果「DO(実施)」

単位:千円			平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(予算)	令和元年度事業費の内訳
事業費 コスト	事業費合計		8,222	6,885	6,830	奨励金 熊駆除奨励金 20頭×20,000円 エゾシカ駆除奨励金 1,200頭×5,000円 キツネ駆除奨励金 50頭×3,000円 カラス駆除奨励金 60羽×500円
	常勤職員(延)	人日	0	人日	0	
	臨時職員(延)	時間	0	時間	0	
	人件費合計		0	0	0	
総事業費			8,222	6,885	6,830	令和元年度財源内訳の積算
財源内訳	国道支出金		600	600	600	R1 地域づくり総合交付金 600,000円 一般財源 6,230,000円
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		7,622	6,285	6,230	
財源合計			8,222	6,885	6,830	
H30年度 実施内容		熊駆除 19頭 エゾシカ駆除 1,253頭 キツネ駆除 63頭 カラス駆除 22羽				

活動指標 ※何をどのくらいやったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	最終目標値
			H29(目標)	H30(目標)		
有害鳥獣の駆除	有害鳥獣の駆除を行った。	頭	1,253	1,473		H 年度
			(1,200)	(1,200)	(1,200)	(-)
成果指標 ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	指標の説明 ※指標の内容と設定理由	単位	H29実績	H30実績	R1(目標)	最終目標値
			H29(目標)	H30(目標)		
農業被害	農業被害の軽減を図った。	ha	250	250		H 年度
			(360)	(360)	(130)	(-)
			()	()	()	()

4. 事業の分析「CHECK(評価)」

	1. 妥当性の評価						
20 /20	<p>①国、北海道、民間及び地域との役割分担から、広尾町が行う必要があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 法律では義務付けられていないが、町で行うべき事業(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p><input type="radio"/> 法律で義務付けられている(10) <input checked="" type="radio"/> 必要性がない(0)</p> <p>②事業の目的のため、現在の手段・方法に改善の余地があるか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 現手法が最適である(10) <input type="radio"/> 検討の余地がある(6)</p> <p><input type="radio"/> 一部改善すべき(4) <input checked="" type="radio"/> 全面的に見直すべき(0)</p>						
	説明	毎年行っている事業である。					
	2. 公平性の評価						
16 /20	<p>①事業の目的に照らし、受益者が特定個人・団体に偏っていないか。</p> <p><input type="radio"/> 全住民に対し公平である(10) <input checked="" type="radio"/> 対象者に対し公平である(6)</p> <p><input type="radio"/> 見方により偏りがある(4) <input type="radio"/> 実態として偏りがある(0)</p> <p>②受益者の費用負担は、コストに対し適切な金額となっているか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 十分適切である(10) <input type="radio"/> 受益者負担なし(10)</p> <p><input type="radio"/> 検討の余地がある(6) <input type="radio"/> やや不適切である(4)</p> <p><input type="radio"/> 受益者負担を検討すべき(2) <input type="radio"/> 不適切である(0)</p>						
	説明	対象者に対し公平。					
	3. 有効性の評価						
12 /20	<p>①政策及び施策の実現や住民満足向上のため、有効な事業であるか。</p> <p><input type="radio"/> とても有効である(10) <input checked="" type="radio"/> 有効である(6)</p> <p><input type="radio"/> やや有効性に欠ける(4) <input type="radio"/> 有効性に疑問がある(0)</p> <p>②当該年度の目標に対し、達成度合いは計画通りであるか。</p> <p><input type="radio"/> 計画値以上である(10) <input checked="" type="radio"/> 計画値通りである(6)</p> <p><input type="radio"/> 計画値以下である(4) <input type="radio"/> 計画値達成が困難である(0)</p>						
	説明	とても有効であると考えられる。					
	4. 効率性の評価						
12 /20	<p>①他市町村及び類似事業に対し、コストがかかりすぎていないか。</p> <p><input type="radio"/> 比較的低成本である(10) <input checked="" type="radio"/> 適正なコストである(6)</p> <p><input type="radio"/> ややコスト高である(4) <input type="radio"/> 極めてコスト高である(0)</p> <p>②予算及び人員と成果の関係で、単位当たりの効率は適正であるか。</p> <p><input type="radio"/> 効率性が高い(10) <input checked="" type="radio"/> 適正である(6)</p> <p><input type="radio"/> 改善の必要がある(4) <input type="radio"/> 非効率的である(0)</p>						
	説明	適正なコストである。					
	5. 優先性の評価						
16 /20	<p>①社会環境変化等の行政需要に照らし、次年度も実施すべきか。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 必ず実施(10) <input type="radio"/> できれば実施(6)</p> <p><input type="radio"/> 見直して実施(4) <input type="radio"/> 事業見合わせ(2)</p> <p><input type="radio"/> 終了・廃止すべき(0)</p> <p>②事業を廃止又は延伸した場合、何らかの影響が予測され、その程度はどうか。</p> <p><input type="radio"/> 影響は大きい(10) <input checked="" type="radio"/> 影響はある(6)</p> <p><input type="radio"/> 影響は少ない(4) <input type="radio"/> 影響はない(0)</p>						
	説明	毎年行っている事業である。					
合計 76 /100	事業実施の課題・方向性						
	有害鳥獣の駆除を行うことにより農業被害の軽減を図る。						

5. 今後の方向性「ACTION(改善)」

	事業の方向性			
2次評価 (政策プロ)	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善	
	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止(期間:H 年度～H 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期:H 年度)	
	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
投入資源の方向性 労働量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
	<input checked="" type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
	今後の取組方針(改善点・変更点)			
主管者会議評価	事業の方向性	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 休止(期間:H 年度～H 年度)	<input type="radio"/> 廃止・完了(時期:H 年度)
	事業量	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
投入資源の方向性 労働量	<input type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
	<input checked="" type="radio"/> 拡大	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま	<input type="radio"/> 締め	
	総合コメント			